

横根・桜井積石塚古墳群周辺ルート



⑥3横根山田古墳

⑥3横根山田古墳
6〜7世紀の盛土墳で、直径20mほどと考えられる大型円墳。現在は横穴式石室が残っている。

⑥2横根・桜井積石塚古墳群
大蔵経寺山南西斜面と八人山南東斜面に挟まれた斜面上に145基の積石塚古墳などが分布し、4つの支群により構成される。墳丘や石室の形態、出土遺物から6〜7世紀に造られたものが多いと考えられる。今回はその中から、見学しやすいものをピックアップ。それぞれの古墳に白い看板が建っている。
甲府市史跡【所】甲府市

■ 斜面 (山)
- - - 古墳群の範囲



29号墳



9号墳



39号墳

こんもりしているのが古墳だぞ



14号墳



⑥4村内1号墳

⑥4村内1号墳
畑の中にひっそりとたたずむ円墳。現在はゆるやかな墳丘が残る。

積石塚古墳とは

歩く時間は1時間ほど。
基本はアスファルトの道だけど、⑥2周辺は坂道です。また、藪の中にたくさんあるので、よく見たい方は安全に注意し、無理しないでください!



土を盛り上げて墳丘を造る一般的な古墳(盛土墳)に対し、石を積み上げて墳丘を造ったものを積石塚古墳と呼びます。東日本の中では特に長野県に多く、古墳時代中期〜後期(5〜7世紀)にかけて造られました。多数の古墳が密集して形成される群集墳の中に多く存在することがわかっています。なぜ、土ではなく石で古墳を造ったのか。その謎は今も解明されていない、ミステリアスな古墳です。山梨県では、甲府盆地北東部に多く分布します。